



農林交流センターニュース

第496号 2017.11.17

発行：農林水産省農林水産技術会議事務局
筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課
〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9 Tel.029-838-7136

第209回農林交流センターワークショップ 参加者募集

平成30年1月25日(木)～1月26日(金)

メッシュ農業気象データ利用講習会

(参加費無料)

開催趣旨

近年の温暖化により、高温による減収や品質低下が各地で問題となりつつあり、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する多種の小規模・分散圃場を効率的に経営するために、機材の稼働や労働が平準化するよう、多数の作物や品種を分散して上手に管理する技術が求められています。

メッシュ農業気象データシステムは、これら技術の高度な需要にも対応することを目標に開発された新しい気象情報サービスで、1980年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値を1kmメッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。

本ワークショップは、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語 Python や表計算アプリでこれを処理する技術を習得します。

◆場 所：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
農業環境変動研究センター大会議室（つくば市観音台3-1-3）

◆主 催：農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
農研機構 農業環境変動研究センター

◆対 象：産学官で研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方

◆募集人数：30名

◆用意する物：ノートPC（※下記条件をご確認下さい）

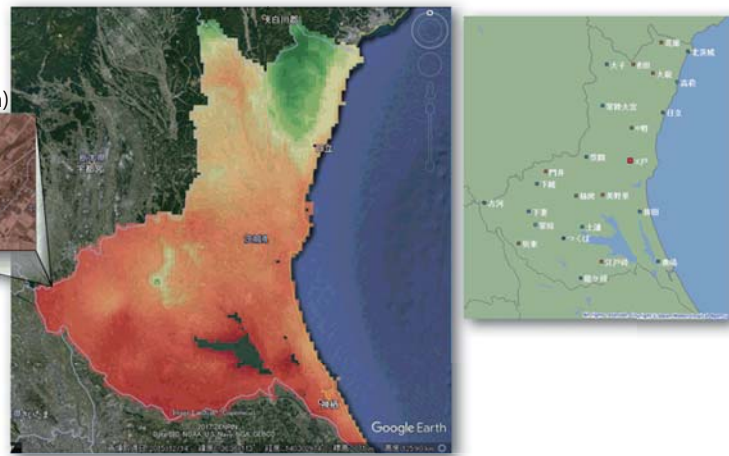
1. 無線または有線のLAN接続機能を有するPC
2. OSは、Windows7以降、または、Mac OS X 10.11以降
3. ソフトウェアならびにプリンターのインストール権限を有するPC
(実習で ANACONDA(<https://www.anaconda.com/>)、Canon LBP9950C を使用します。)
4. Microsoft Excel バージョン Excel2007以降が利用可能なPC (実習にて Excel で気象データの処理を行う為)

【その他】

利用者のアカウント名に日本語が使用されていると、アプリケーションが誤作動を起こすことがあるため、アルファベットのアカウントを別途作成して頂きます。
※アカウントの権限自体は、一般ユーザーでかまいません。



【コーディネーター】
農研機構 農業環境変動研究センター
気候変動対応研究領域
主席研究員 大野 宏之 氏



▲国内任意の地点における気象データを提供
(日別気象データを約1km×1kmの単位で全国について作成します。)

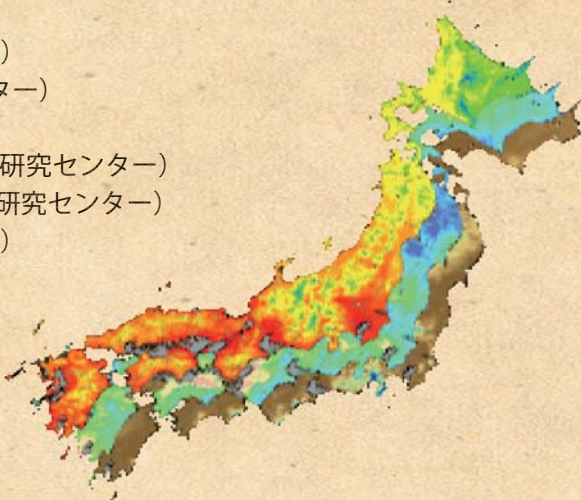
講義と実習概要

1月25日(木)

- 9:00- 9:05 [挨拶] 加藤 隆 (農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターコーディネーション推進課長)
- 9:05- 9:40 [オリエンテーション及び参加者自己紹介 (グループ毎)]
- 9:40-10:10 [講義] 「メッシュ農業気象データシステムの概要」大野 宏之 (農研機構 農業環境変動研究センター)
- 10:20-11:00 [実習] 「プログラミング言語 Python の開発環境構築」大久保さゆり (農研機構 東北農業研究センター)
- 11:00-12:00 [実習] 「Python によるプログラミングの基礎」片柳 薫子 (農研機構 農業環境変動研究センター)
- 13:00-14:10 [実習] 「メッシュ農業気象データの処理1 (Python による処理)」小南 靖弘 (農研機構 北海道農業研究センター)
- 14:10-14:50 [実習] 「メッシュ農業気象データの処理2 (MS-Excel による処理)」根本 学 (農研機構 北海道農業研究センター)
- 15:00-15:30 [講義] 「メッシュ農業気象データの特性について」桑形 恒男 (農研機構 農業環境変動研究センター)
- 15:30-16:00 [講義] 「メッシュ農業気象データの活用事例」佐々木 華織 (農研機構 農業環境変動研究センター)
- 16:00-17:00 [討論] 「グループで開発するアプリケーションの検討」大野 宏之

1月26日(金)

- 9:00- 9:05 [オリエンテーション] 大野 宏之
- 9:05-12:00 [実習] 「グループごとにメッシュ農業気象データを利用するアプリケーションを開発」
- 13:00-14:45 [発表] 「グループで開発したアプリケーションの発表」大野 宏之



ワークショップについてのお申し込み＆お問い合わせ先

申込方法：下記により12月18日(月)までにお申し込み下さい(必着)。

◆農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方

「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」ホームページから
「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申し込みください。

◆上記以外の方(大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方)

「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」のホームページのお申し込みフォームからお申し込みください。

受講者決定：12月26日頃、メールにてお知らせいたします。

お申し込み＆お問い合わせ先：農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課 鈴木・木暮(きぐれ)
Tel: 029-838-7136 Fax: 029-838-7204 E-mail: koryu7129@cc.affrc.go.jp

参加費
無料

筑波産学連携支援センター

